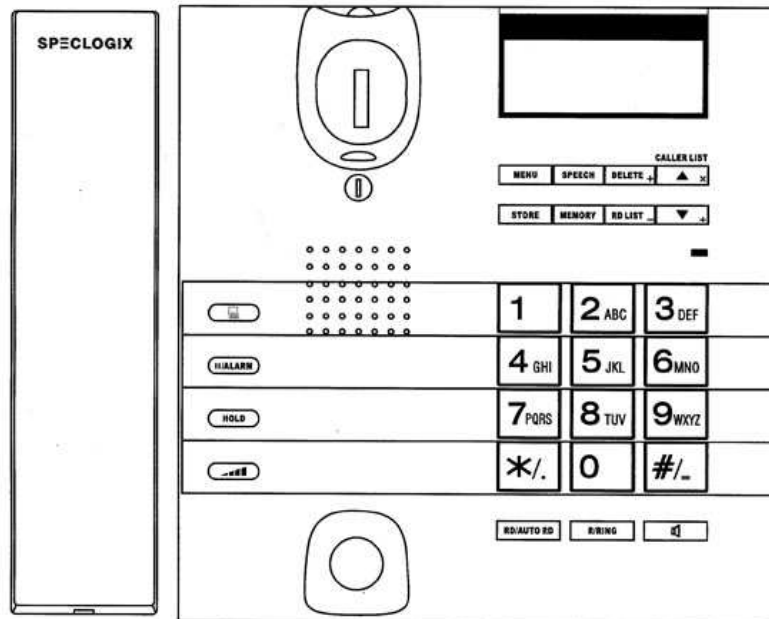


SPECLOGIX

ID-140



ID-140 取扱説明書

設置

電池の設置

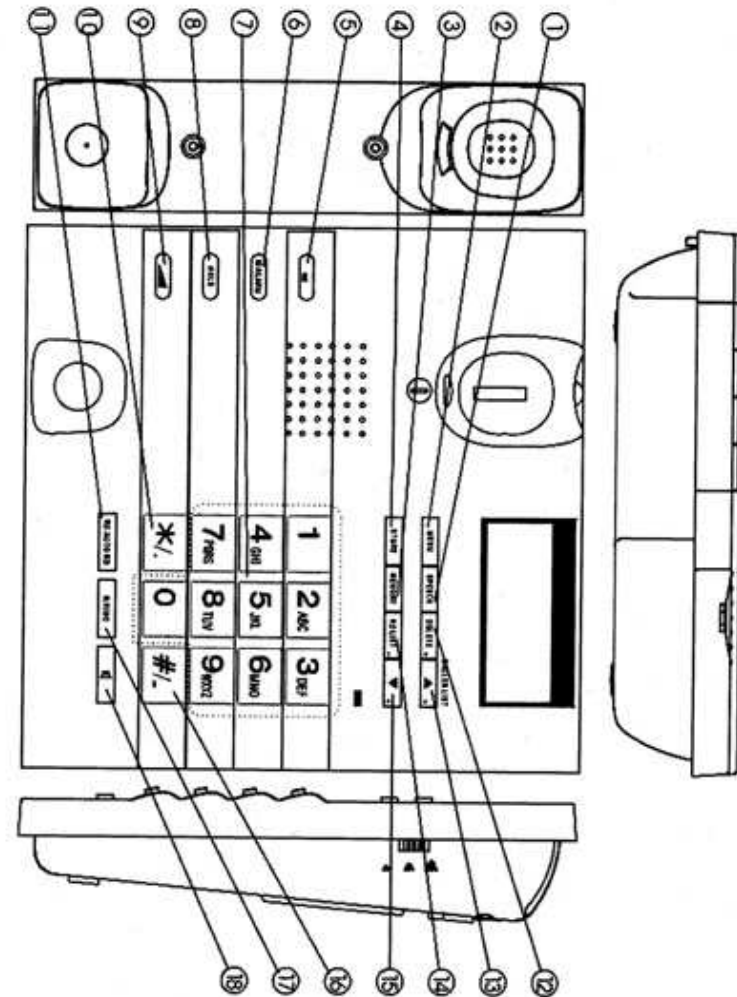
- ① 電話線と番号メモを外します。
- ② バックパネルを開けて、3つのAAA電池を入れて、バックパネルを閉めます。

注 電池が残りわずかになった時は、着信機能が停止します。また、設定した呼び出し音が自動で普通の呼び出し音になります。

コードの設置

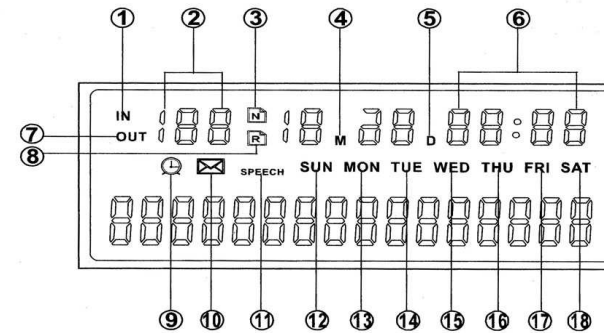
- ① コイルコードを本体のモジュージャックに差し込みます。
- ② 電話線コードの一方を本体のモジュージャックに差し込み、
- ③ もう一方を壁の電話コンセントに差し込みます。

* 電話機を壁にかける場合、受話器の受け台の下にあるロックを回してください。



機能キー

- ① 呼び出し音
- ② メニュー
- ③ メモリー
- ④ 格納
- ⑤ 電卓
- ⑥ 会話を一時停止する。
- ⑦ 数字ボタン
- ⑧ 保留音
- ⑨ 呼び出し音とスピーカーの音量
- ⑩ */.
- ⑪ 再ダイヤル/自動再ダイヤル
- ⑫ 削除/+
- ⑬ 上に移動する/最初の着信
- ⑭ リダイヤルリスト
- ⑮ 下に移動する
- ⑯ #/=
- ⑰ フラッシュ
- ⑱ スピーカー



LCD スクリーンの表示

- ① 着信中
- ② 着信件数
- ③ 新しい番号
- ④ 月
- ⑤ 日
- ⑥ 時間（時、分）
- ⑦ 発信
- ⑧ 前回の着信と同じ番号であれば表示
- ⑨ アラーム
- ⑩ メッセージ
- ⑪ **Speech**
- ⑫ 日曜日
- ⑬ 月曜日
- ⑭ 火曜日
- ⑮ 水曜日
- ⑯ 木曜日
- ⑰ 金曜日
- ⑱ 土曜日

設定

メニューの設定方法

電話機をご使用になる前に、基本設定をすることをお薦め致します。

本機には5つのメニューがあります。

- ① SET1 dATE
- ② SET2 Code
- ③ SET3 PCOdE
- ④ SET4 LCd
- ⑤ SET5 FLASH

受話器を下ろした状態で、MENU を押し、上下ボタンでご希望の、メニューを選択します。その後、もう一度 MENU を押しと、設定が有効となります。

注

- ① 受話器を下ろした状態で、設定を行ってください。
- ② 設定する際に、DELETE ボタンを押すか、受話器を取るか、着信を受けるか、もしくは10秒以内に操作しなければ、設定メニューが自動終了します。その際、最後に表示されていた設定が保存されます。
- ③ “SET2 ” “SET3” は日本ではご使用になれません。

機能設定

日時の設定

- ① MENU ボタンと押し、「SET1 dATE」が現れるまで上下ボタンを押します。
- ② もう一度 MENU を押しと、西暦の番号が点滅します。その際に上下ボタンを押して年を設定します。
- ③ もう一度 MENU を押しと、月の番号が点滅します。月、日、時間も同様に設定を行ってください。その後、もう一度 MENU を押しと設定した情報を記録します。

LCD スクリーンのコントラストの設定

LCD スクリーンのコントラストは8つのレベルから選択できます。

- ① MENU ボタンを押し、「SET4 LCd」が現れるまで上下ボタンを押します。
- ② MENU を押しと、コントラストのレベルが点滅します。
- ③ 上下ボタンでお好みのコントラストを選択しMENUボタンを押し決定いたします。

フラッシュの設定

- ① MENU ボタンと押し、「SET5 FLASH」が現れるまで上下ボタンを押します。
- ② MENU を押しと、「FLASH 600」が点滅します。（「FLASH 600」はフラッシュの時間が600ミリ秒であることを示します。）上下ボタンを押して設定します。その後、もう一度 MENU を押し設定した情報を記録します。
- ③ フラッシュの時間は、110 ミリ秒、300 ミリ秒、600 ミリ秒、1000

ミリ秒から選択できます。

- ④ もう一度 MENU を押し、設定した情報を記録します。

呼び出しの選択と音量の設定

10 種類の呼び出し音からお好みの着信音を選べます。

- ① 待ち受け状態で、2 秒間、R/RING ボタンを押すと、現在の呼び出し音名が表示されます。また、現在使用中の呼び出し音が流れます。
- ② もう一度 R/RING ボタンを押すと他の呼び出し音へ変更できます。

注

- ① MENU タンを押すか、6 秒以上操作しなかった場合、待ち受け状態に戻ります。
- ② 受話器を取るか、ダイヤルボタンを押すか、他のメニューを操作すると、呼び出し音設定を終了します。
- ③ SONG1 から SONG8 は和音メロディーで、SONG9 と SONG10 は単音着信です。
- ④ 待ち受け状態時に  ボタンを押すと、音量が調整できます。
- ⑤ 電池を使用していない場合、単音着信のみ利用可能です。

アラームの設定

本機では 3 回分のアラームを設定できます。電池を入れ、受話器を下ろした状態で設定を行ってください。

アラーム設定を「ON」にする

- ① PAUSE/ALARM ボタンを 2 秒間押すと、「AL 1 OFF」 が現れます。上下ボタンを押して「ON」を選択します。
- ② MENU ボタンと押し、アラーム設定を開始します。上下ボタンを押しながら、時間を選択します。設定した情報を記録するために、もう一度 MENU ボタンを押します。
- ③ もう一度 MENU ボタンを押すと、「TONE1」 が現れるとともにアラーム音が聞こえます。上下ボタンを押しながら、アラーム音を選択します。アラーム音が 3 種類あります。
- ④ 設定した情報を記録するために、もう一度 MENU ボタンを押します。
- ⑤ 「ALARM2」と「ALARM3」は「ALARM1」と同様に設定を行ってください。

アラーム設定を「OFF」を選択する

- ① PAUSE/ALARM ボタンを 2 秒間押すと、「AL 1 OFF」 が現れます。上下ボタンを押して「OFF」を選択します。
- ② MENU ボタンを押し、「ALARM2」と「ALARM3」も同様に設定します。

設定画面を出す

- ① 「ALARM3」を設定後、MENU を押します。
- ② 10 秒以上操作しない。
- ③ 受話器を取るか他の設定を活性化します。

アラームの開始

設定した時刻に鳴り出します。

鳴動中のアラームをとめる

- ①アラームが鳴っている際に受話器を取る。
- ②ボタンを押しても、アラームが鳴り止みます。

T/P の選択（トーン・パルスの選択）

「-t-」か「-P-」がスクリーンに現れるまで*/.ボタンを押します。
パルス、またはトーンを選択し、もう一度*/.ボタンを押してください。

電話機の操作

スピーカーフォン

発信

待ち受け状態で、SPEAKER ボタンを押し、番号をダイヤルします。
通話時にハンズフリーでの会話ができます。
途中から受話器を使用して通話される場合には、
受話器を取り、SPEAKER ボタンを押してください。

着信

着信時に SPEAKER ボタンを押します。
途中から受話器を使用して通話される場合には、
受話器を取り、SPEAKER ボタンを押してください

スピーカーフォン音量の調整

受話器が取られている時に、 ボタンを押します。

オンスクリーンダイヤリング機能

発信する前に番号を入力したり、訂正したりすることができます。

- ① 受話器を下ろした状態であることと、スピーカーフォンが使用中でないことを確認します。
- ② 番号を入力し、DELETE を押すと、番号を訂正できます。
- ③ RD/AUTO RD ボタンを押すと、スクリーンに表示した番号に発信します。

通話時間

電話をつないでから 8 秒後に通話時間が表示されます。

再ダイヤル/自動的に再ダイヤル

- ① 受話器を取って、RD/AUTO RD ボタンを押すと、番号は自動的にダイヤルされます。

ポーズ

受話器が上がっている状態で、ダイヤルする際に一度 PAUSE/ALARM ボタンを押すと、ダイヤル開始の 3.6 秒の遅らせることができる。

電話回線使用中の表示

通話時には赤いランプが点灯します。

保留音

会話中、HOLD ボタンを押すことによって、通話先に保留音を流すことができます。

- ① 受話器を使用する場合、HOLD ボタンをもう一度押すと、会話を続けることができます。

- ② スピーカーフォンを使用する場合、**SPEAKER** ボタンを押すと会話を続けることができます。
- ③ **HOLD** ボタンを押してから、受話器を置いても電話は切れません。**SPEAKER** ボタンを押すか、受話器を取ったら、会話を続けることができます。

番号帳のメモリー

この電話機は、メモリーを 10 件登録できます。

- ① 受話器を下ろします。
- ② 番号を入力します。最大の 16 ケタまで記録できます。
- ③ **STORE** ボタンを押します。
- ④ 0 から 9 のボタンを押して記憶させる位置を選択します。
- ⑤ 以上の手順で他の番号も登録します。

番号帳からの発信

- ① 受話器を取るか、**SPEAKER** ボタンを押します。
- ② **MEMORY** ボタンを押して、0 から 9 のボタンでメモリーの位置を選択します。
- ③ 記録した番号へ自動的にダイヤルします。

番号長からの発信方法 2

- ① 受話器を下ろした状態で、スピーカーフォンが機能していないことを確認します。
- ② **MEMORY** ボタンを押して、0 から 9 のボタンで事前に登録したメモリーのナンバーを押します。
- ③ 登録した番号は **LCD** スクリーンに現れます。

- ④ **RD/AUTO RD** ボタンを押すと、スピーカーフォンモードで自動的にダイヤルします。

発信履歴

この電話機は発信履歴を最大 20 件記録されます。

発信履歴から発信することもできます。

- ① **RD LIST** ボタンを何度も押して、ひとつずつチェックします。
- ② **LCD** スクリーンに前回会話持続時間が表示されます。
- ③ 受話器を下ろした状態で、**DELETE** ボタンを押すと、表示されている発信履歴が削除されます。
- ④ 3 秒間 **DELETE** ボタンを押し続けると、全ての発信履歴が削除されます。

ダイヤル番号を隠す

ダイヤルする際に他の方から番号を見えなくします。

- ① 受話器を取るか、**SPEAKER** ボタンを押します。
- ② **SPEECH** ボタンを押して、番号を入力します。
- ③ **SPEECH** ボタンをもう一度を押すと、発信番号の代わりに「-----」が指示されます。

電卓機能

待ち受け状態でも、通話中でも、電卓機が使用できます。

- ① 一度電卓ボタンを押して電卓機機能を ON にします。
- ② 数字ボタンで数字を入力します。

ボタン対応表) DELETE ボタン : +

RD LIST ボタン : -

上ボタン : ×

下ボタン : ÷

*ボタン : .

ボタン : =

計算機ボタンを再び押し、電卓機の機能を終わめます。

動かない場合

電話が動作しない場合、以下の調査を行ってください。

- ① 器具が正しくジャックに接続されているかを確認します。
- ② フック・スイッチがしっかり受話器を受け台に置くことによって適切に押し下げられるかを確認します。
- ③ 通常、電話線コードが適切に機能しているかを確認するために、別のコードを入れ替えてみます。
- ④ 電池が入っているかを確認します。電池の残量があるかを確認する。